



はじめての Oracle Cloud Infrastructure (OCI)

日本オラクル株式会社

クラウド営業統括

第一営業本部 公共営業部

松山 慎



Safe harbor statement

以下の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。

以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント（確約）するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。

オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

はじめての Oracle Cloud Infrastructure (OCI)

- Oracle Cloud Infrastructure 概要
- サービスの開始
- OCIコンソール
- ユーザー/グループ/ポリシー/コンパートメント/リソース
- 課金について押さえておきたいポイント
- OCIからの通知
- Oracle Cloud 参考資料ご案内

内容は予告なく変更されることがありますのでご注意ください。
また本章の説明と一般公開された各種文書の間には矛盾がある場合は公開文書を正とします。

Oracle Cloud Infrastructure 概要

ベアメタル

フラット&ノンブロッキングネットワーク / オーバーサブスクリプションなし

Oracle Cloud Infrastructure リージョン

2020年8月現在: 26リージョン提供中、さらに12リージョン計画



Oracle Cloud : PaaS と IaaS

SaaS



ERP/EPM



SCM



HCM



CX

PaaS

Autonomous Database
(自律型データベースクラウド)



Autonomous
Transaction
Processing

Autonomous
Data
Warehouse



アナリティクス



コンテンツ管理



セキュリティ・IT管理



インテグレーション



データ管理



アプリケーション開発

IaaS

Oracle Cloud Infrastructure (第2世代IaaS)



仮想マシン

GPU/HPC

ストレージ

コンテナ

ネットワーク

セキュリティ

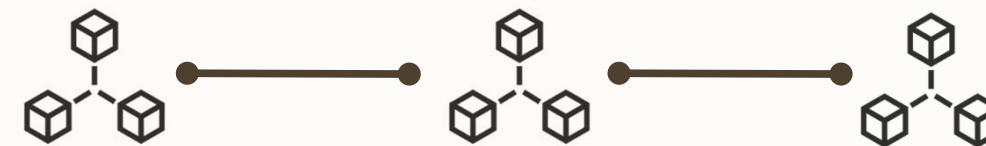
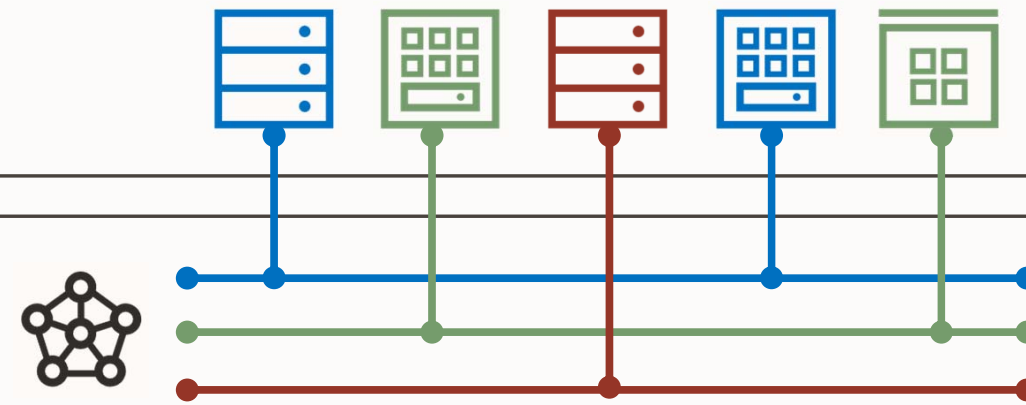
Oracle Cloud Infrastructure アーキテクチャ全体像

サービス
(コンピュー、ストレージなど全てのサービス)

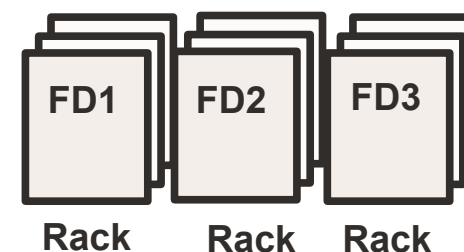
仮想クラウド・ネットワーク

物理ネットワーク
(フラット・ネットワーク)

リージョン
(東京、ロンドンなど)



AD (可用性ドメイン)

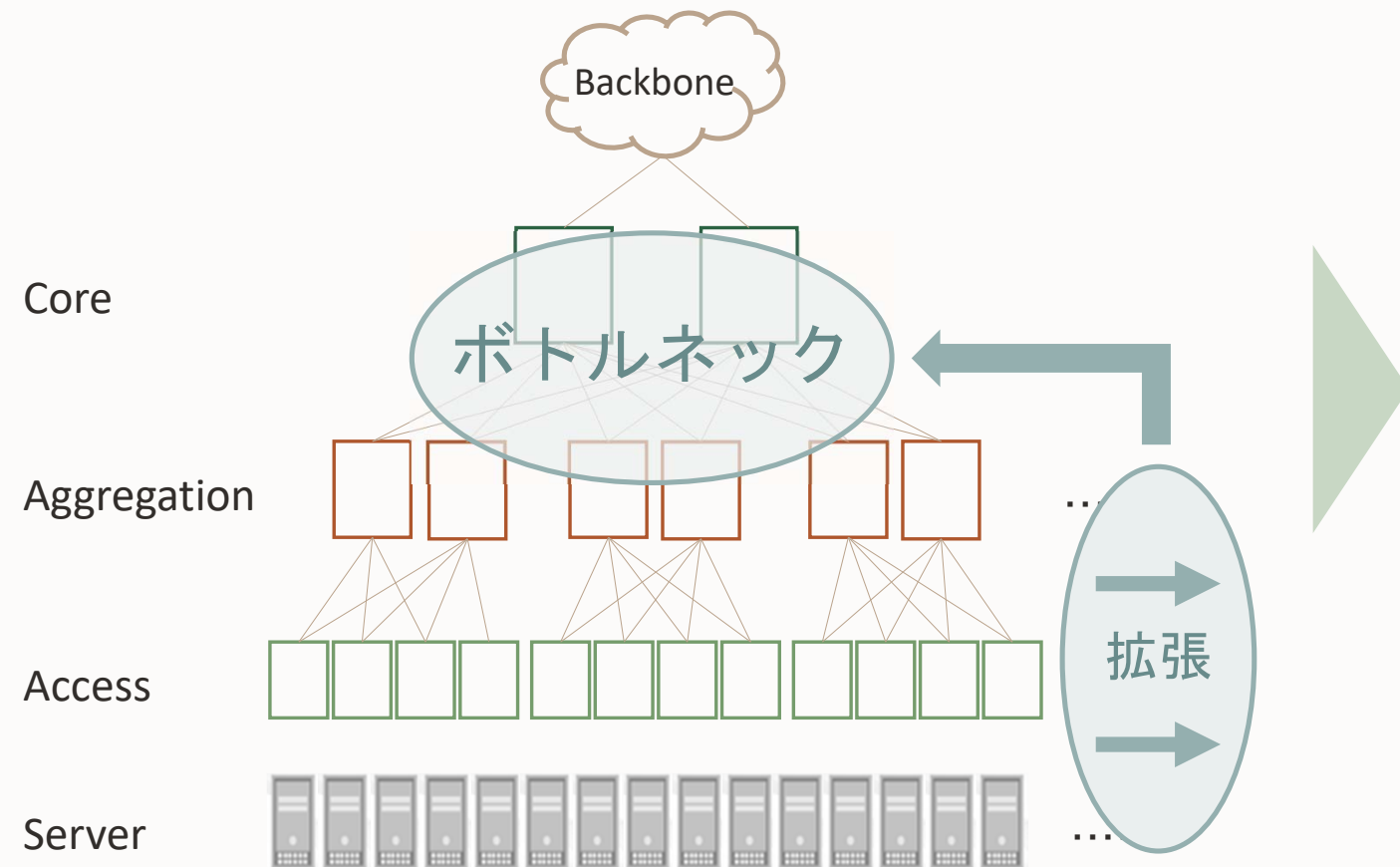


- ベアメタルサーバとフラットネットワークを基調としたアーキテクチャで、**オンプレミス同等の機能・性能**を提供可能。
- Oracle Cloud の IaaS は各種最新技術を**低価格で提供**。
- ストレージは**常時 AES-256 で暗号化**。
- 公共機関は請求書払い。

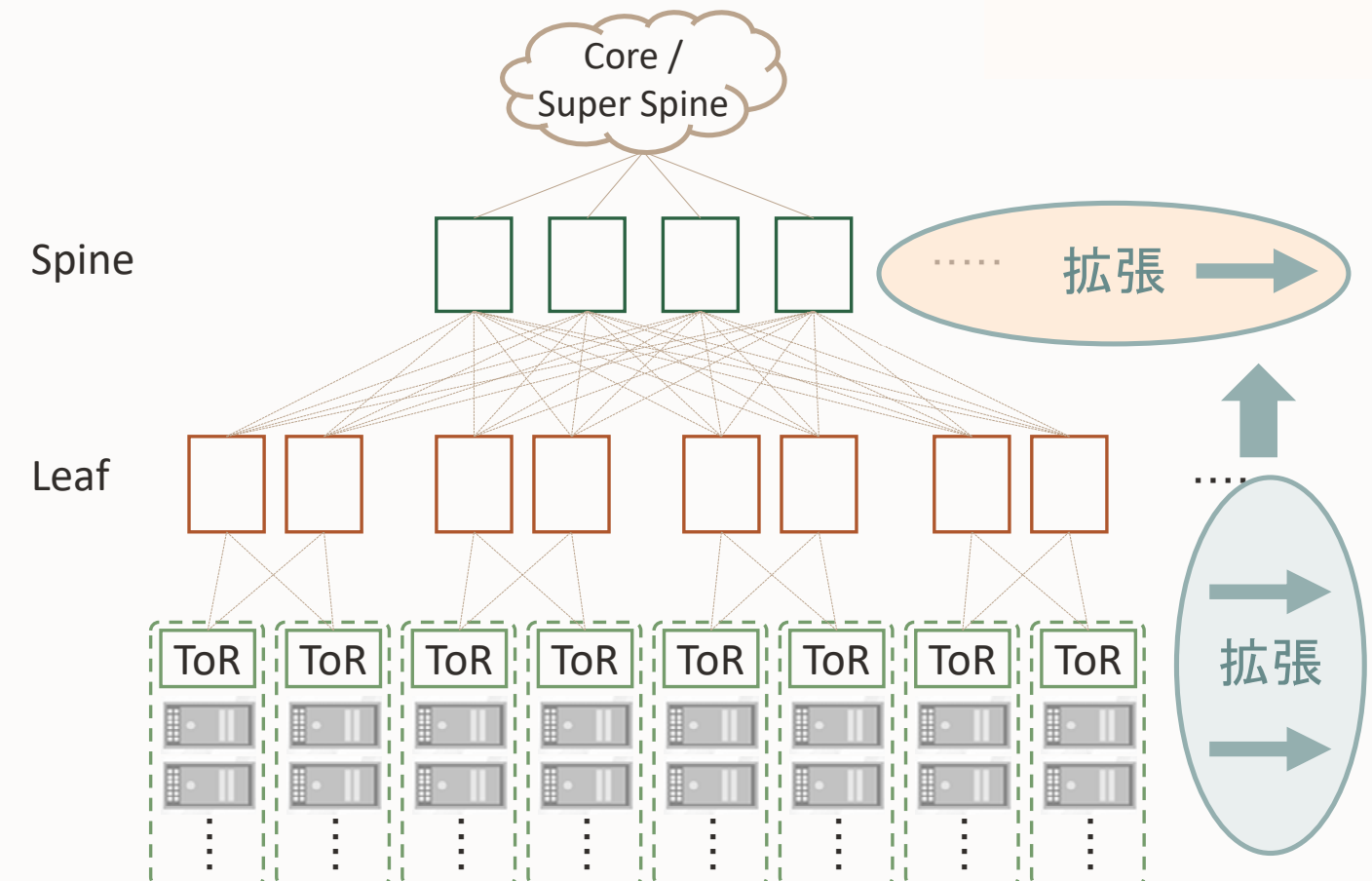
OCIの物理ネットワーク

フラット・ネットワーク: クラウド内の全てのノードを低レイテンシー & 広帯域で接続

従来型の階層型ネットワーク



OCIのフラット・ネットワーク

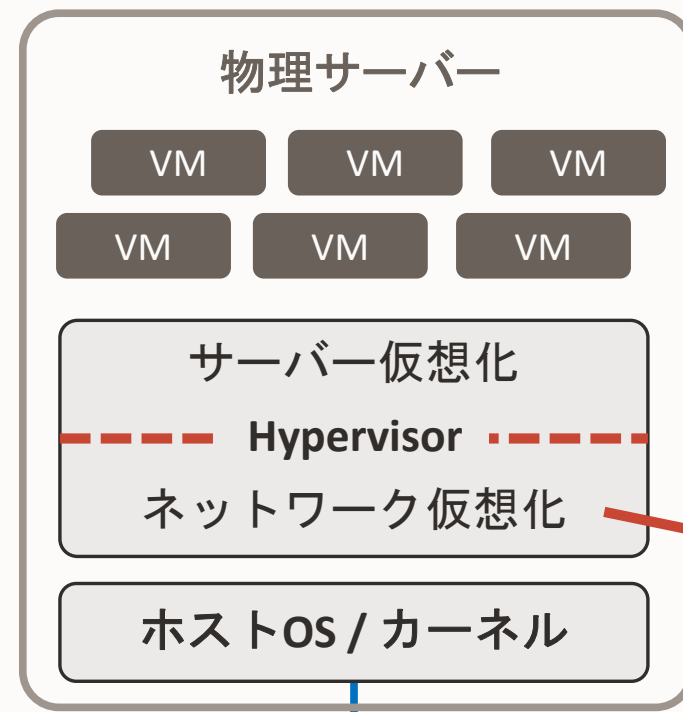


- Availability Domain内はフラットな物理ネットワークにより、高いスケーラビリティを実現
- Network や CPU のオーバーサブスクリプションがなく、安定した帯域と性能を実現
- Compute と Storage は最大2ホップかつ低レイテンシーで接続可能

セキュアで高パフォーマンスを実現するコア・アーキテクチャ

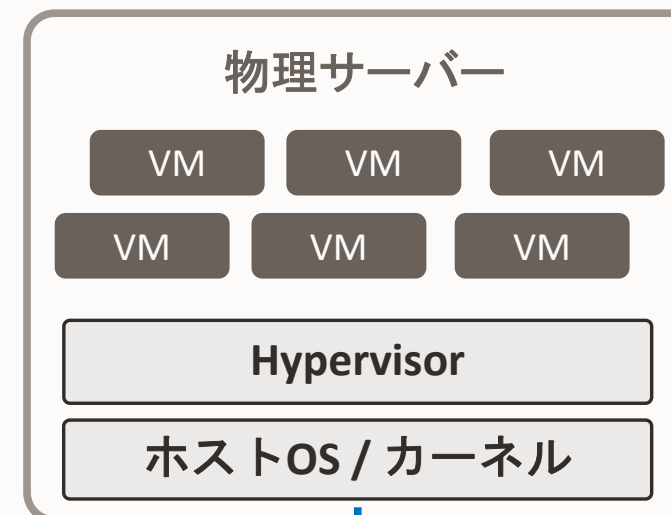
- 通常は同じサーバーでサーバー仮想化もネットワーク仮想化も実行
- Oracle Cloud Infrastructureでは、ネットワーク仮想化を別のHWで実行。そのため非常に高い独立性実現でき、ベアメタル・サーバーもVMと同様の操作を実現

通常のクラウド



ネットワーク仮想化を
サーバーの外にある、
別のHWで実施

Oracle Cloud Infrastructure

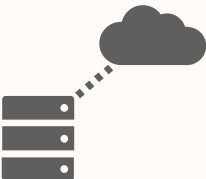


ネットワーク仮想化



ネットワーク仮想化

他社に比べ、圧倒的なコストパフォーマンスを実現

	Oracle Cloud の強み	Oracle Cloud	某クラウドベンダ 同等サービス(公開情報)	
Compute 	✓ ベアメタルを基調としたサービス ✓ Elastic な遅延1.5μsのRDMA環境も提供	¥80.82/時 Compute (VM.Standard2.8; 8コア, 120GB, Windows)	¥180.48/時	¥ 55% 低価格
GPU 	✓ V100 NVLINK 8GPU ✓ NVIDIA GPU Cloudや NVIDIA GRIDも利用可能	¥354/時 Compute - GPU (VM.GPU3.1: NVIDIA Tesla V100/16GB x 1GPU)	¥461.34/時	¥ 23% 低価格
Storage 	✓ 1PB年間374万円の Archive Storageも提供	¥5,222/月 Block Volume (1TB, 20K IOPS)	¥171,000/月	¥ 97% 低価格
Network 	✓ AD間無償 ✓ 10TB/月まで無償 ✓ 専用線接続時はデータ 転送無償	¥18,972/月 FastConnect (1Gbps, 100TB) *専用線接続	¥614,645/月	¥ 97% 低価格

インスタンス価格比較 – 日本国内リージョン

	<u>Oracle</u>	<u>Amazon</u>	<u>Microsoft</u>
Cluster w/RDMA	Compute BM.HPC2.36 Skylake 36物理コア 384GB Memory 100Gbps RoCEv2 \$0.075 (¥9) /コア/時間	EC2 c5n.metal Skylake 72 vCPU 192GiB Memory 100Gbps Elastic Fabric Adapter (30 μ s) \$0.136 (円定価設定無し) /コア/時間	Azure VM HC44rs Skylake 44コア仮想マシン 352GiB Memory 100Gbps Infiniband \$0.104 (¥11.69) /コア/時間
GPU/V100	Compute BM.GPU3.8: 8GPU, 52コア, 768GB \$2.95 (¥354) /GPU/時 BM.GPU4.8 (A100) : 8GPU, 64コア, 2TB, 1.6Tbps RDMA \$3.05 (¥366) /GPU/ 時	EC2 p3.16xlarge: 8GPU, 64vCPU, 488GB \$4.194 (円定価設定無し) /GPU/時	Azure VM NC24s v3: 4GPU, 24コア, 448GB \$4.194 (¥469.728) /GPU/時



OCI の SINET接続



- 東京リージョン、大阪リージョンとも敷設完了
- SINET-OCIリージョン間の回線はOracleが敷設しご利用機関様負担¥0-。
- 接続開始にご利用機関様、SINET様、オラクルの3社連携した最短2週間程度の
手続が必要。
- ご利用テナントへのVirtual Circuit 接続でOCIのFastConnectサービスのプロビジョンが
必要。(1Gbps: ¥25.5ポート時、10Gbps: ¥153ポート時)
- L3接続が要件。BGP対応ルータの設定およびIEEE802.1q(tagVLAN)の設定が必要。
- FastConnect/SINET経由のPrivate Peering は上り/下りとも転送データ量課金
無制限に¥0-。

国立情報学研究所 学認クラウド関連対応



- 学認クラウド導入支援サービス 登録
 - Oracle Cloud Infrastructure - Compute (登録手続き中)
 - Oracle Cloud Infrastructure – Storage (登録手続き中)
 - Oracle Content and Experience Cloud
 - Oracle Cloud Infrastructure - Database Cloud Service
- 学認クラウドオンデマンド構築サービス 利用可能プロバイダ
- 学認RDM (研究データ管理基盤) 機関ストレージ接続可能プロバイダ(S3互換)

Planned New Instances

Availability : Q1 – Q2 2021



Ex Standard Instances

- ✓ AMD EPYC **Milan** Architecture
- ✓ Both Bare-Metal & **Flexible** VMs
- ✓ **Same price as E3 (Rome)**



X9 Standard Instances

- ✓ Intel **Ice Lake** Architecture
- ✓ Both Bare-Metal & VMs
- ✓ Cores: 1 – 64 cores at 2.4Ghz
- ✓ Memory: up to 1TB
- ✓ **1x 50G Bandwidth**



X9 HPC Instances

- ✓ Intel **Ice Lake** Architecture
- ✓ Cores: 1–36 cores with High-Frequency (3.x Ghz+)
- ✓ **1.5μs RDMA**
- ✓ Local NVME SSDs



Arm Standard Instances

- ✓ Ampere Altra (**N1 Platform**)
- ✓ **Arm v8.2+** Architecture
- ✓ Both Bare-Metal & **Flexible** VMs
- ✓ Cores - 160 cores at 3.3GHz
- ✓ Memory: up to 1TB
- ✓ 2x 50G Bandwidth
- ✓ Better cost performance



サービスの開始

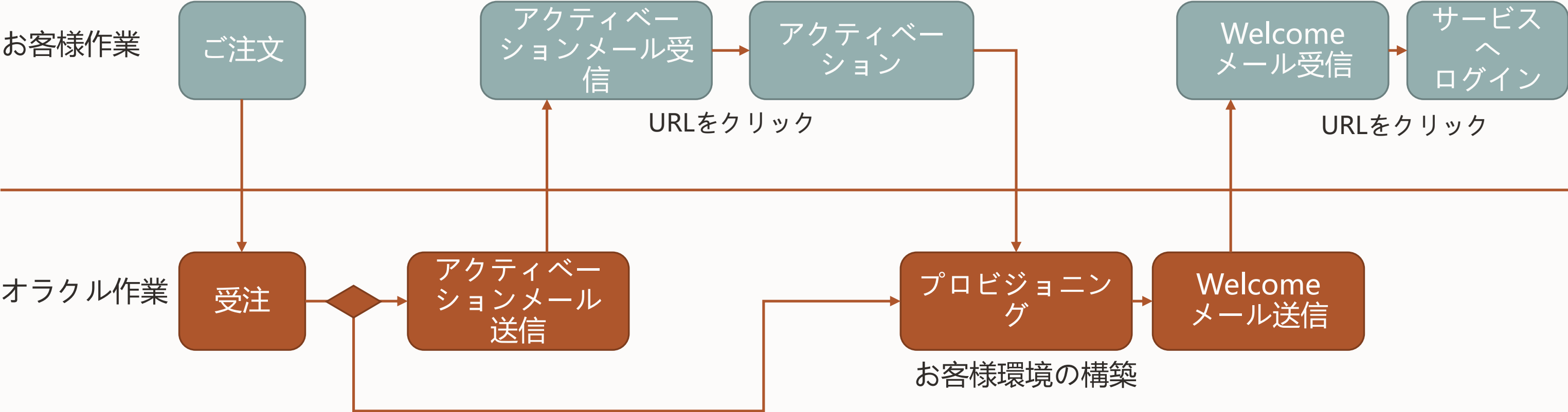


Oracle Cloud 利用開始までの流れ

ご注文 → メール受信 → アクティベーション → メール受信 → 利用開始

「アクティベーション」とは？

- ご注文を確認いただく
- クラウド・アカウント(テナント、仮想DC)名を指定する
- ホーム・リージョンを選択する → Tokyo (R-CCS殿SINET接続設定済みリージョン)



OCIコンソール

OCIコンソール

サインイン直後は下記のようなOCIコンソールが表示されます。



OCIコンソールでは、サービスを利用するためのメニュー・リンクが用意されています。

- ① サービスメニュー
- ② コンソール表示言語設定
- ③ リージョン選択・管理
- ④ OCIのステータス確認
- ⑤ サポート・サービス利用
- ⑥ 最新情報の紹介
- ⑦ リソースとサービスの検索
- ⑧ OCIコンソールの表示

サービスメニューの表示

左上のメニューボタンをクリックすると各種OCIサービス进行操作する画面へ遷移するメニューが表示されます。

IaaS

Compute, Storage
Network など

DB PaaS

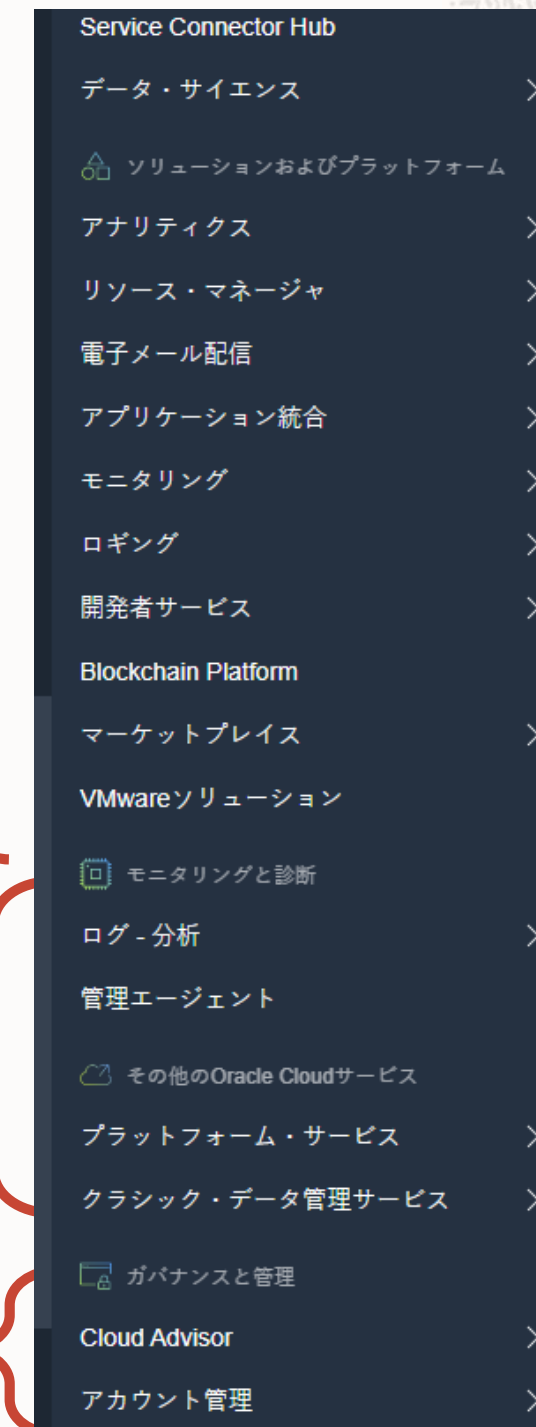
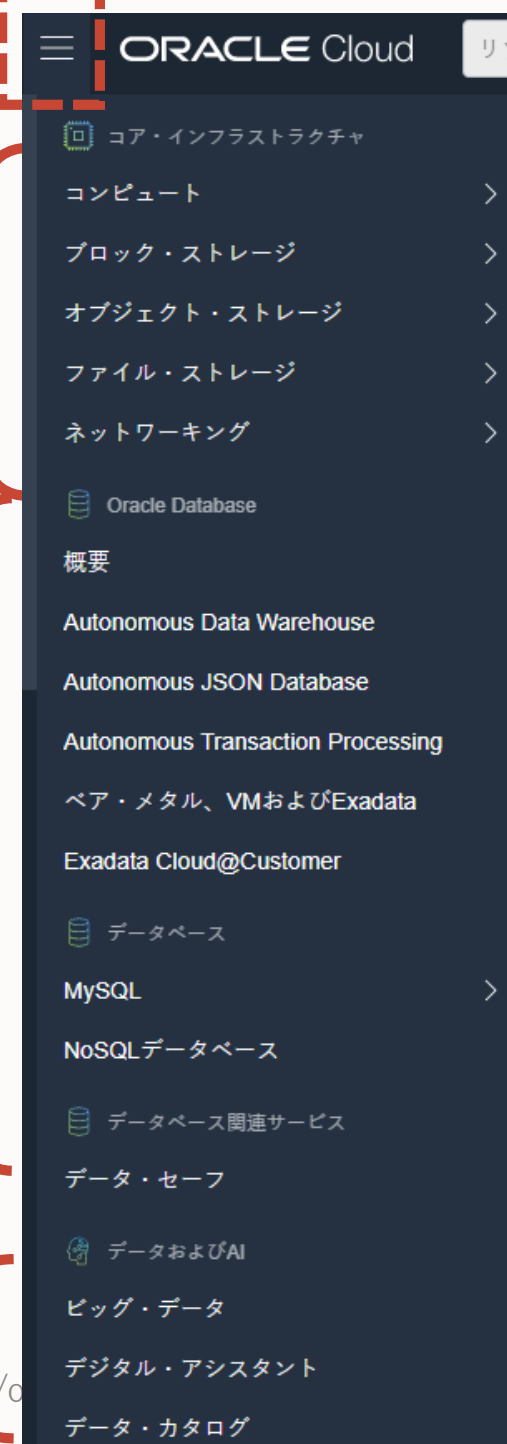
Autonomous Database
Database Cloud Service
NoSQL など

PaaS

各種のPaaS

モニター、
Oracle Platform
Cloud Service
サービス
旧来提供していた
サービスなど

管理サービス
ユーザー管理
コスト分析など



サポートサービス利用



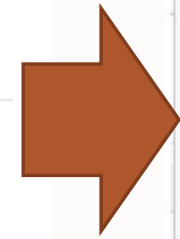
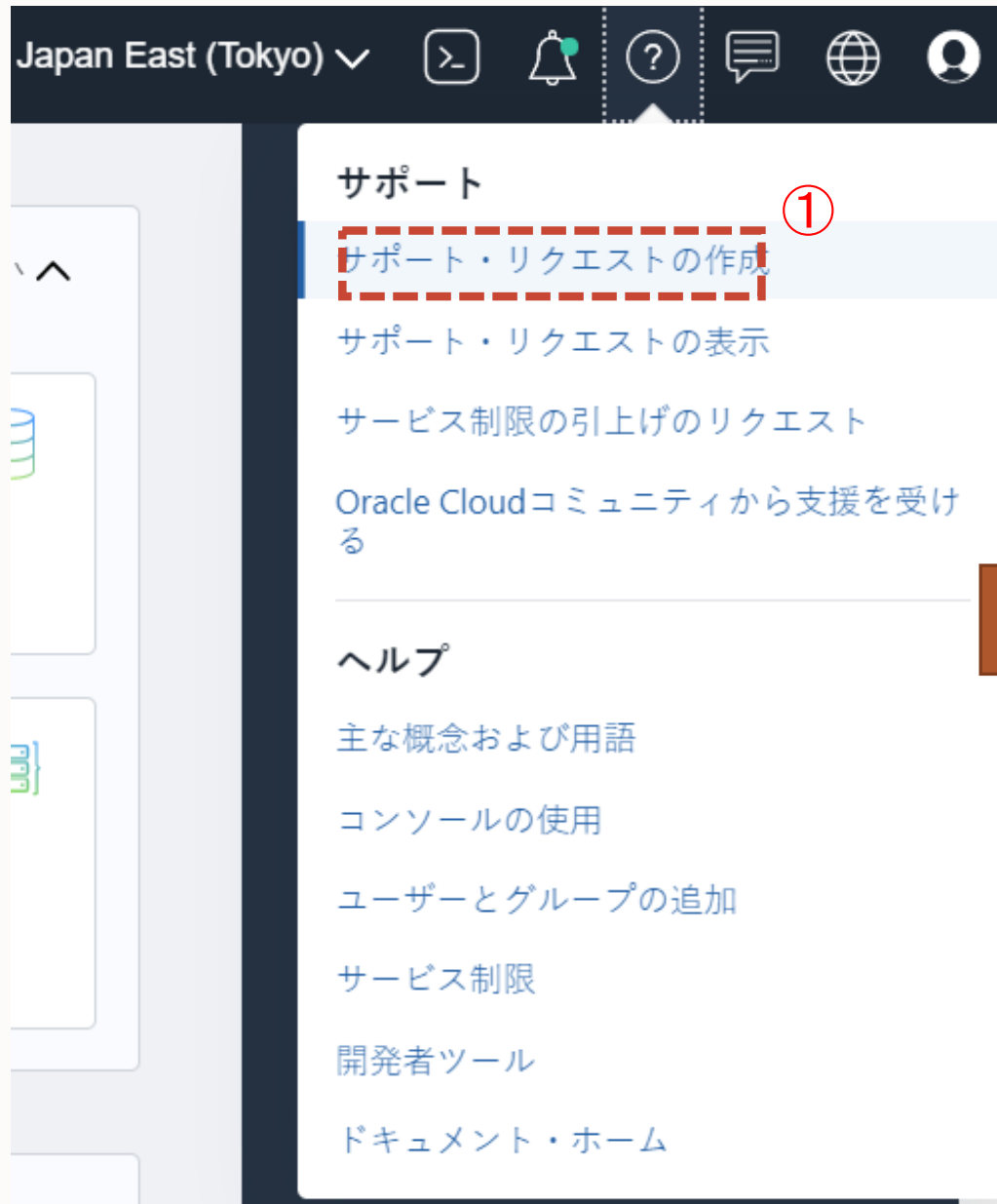
- ①サポート・リクエスト (SR) の作成
- ②SRの表示
- ③サービス制限の引上げのリクエストリンク

※下記のOracle Cloud SupportポータルからでもSRの作成、確認が可能です。

<https://support.oracle.com/>



サポートサービス利用 - サポートリクエストの作成



サポート・リクエストを開く

① CUA (クラウド・ユーザー管理者)が、お客様によるサポート・リクエストの作成を許可する必要があります。
サポート・リクエストを作成するには、[設定ガイド](#)に従ってください。

次のステップに従ってください:

④

1. <https://support.oracle.com>に移動してログインします
2. 画面右上の名前をクリックします
3. 「マイ・アカウント」をクリックします
4. 「アクセスのリクエスト」をクリックします
5. 「サポート識別子」フィールドに[22000068]を入力し、承認者への簡単なメモを入力します
6. 「アクセスのリクエスト」をクリックします

CUAに電子メールが送信されます。承認されると、電子メールで通知され、サポート・リクエストを作成できるようになります。

下のオプションから選択して問題を説明します。サポート・リクエストを作成した後、「サポート・リクエスト」ページでそれを追跡できます。

問題のサマリー

残りの文字数: 85

問題の説明 ②

残りの文字数: 2000
機密情報または機密個人情報は入力しないでください。詳細は、「Oracle GCSのセキュリティ上の措置」を参照してください。[Oracle GCSのセキュリティ上の措置](#)

☐ 問題が解決するまで継続的なサポートが必要です(クリティカル)

☒ 営業時間中のサポートが必要です(緊急)

☐ サポートが必要ですが、緊急ではありません(標準)

③ リクエストの作成 取消

- ①「サポート・リクエストの作成」リンクをクリック
- ②「サポート・リクエストを開く」のページが表示され、問題を記述、重要度を設定する
- ③「リクエストの作成」ボタンが有効になったら、クリックして、SRを作成

※前提条件

クラウド・ユーザー管理者(CUA)がサポート・リクエストの作成を許可する必要があります。

詳細は④の内容をご確認ください。



サービス制限

OCIでは、一連のサービス制限が設定されます。サービス制限は、リソースに設定されているクォータまたは許容量です。申請することで制限を増加させることが可能です。

☰

ORACLE Cloud

Applications >

Exadata Cloud at Customer

データおよびAI

デジタル・アシスタント

ソリューションおよびプラットフォーム

アナリティクス

リソース・マネージャ

電子メール配信

アプリケーション統合

モニタリング

開発者サービス

マーケットプレイス

その他のOracle Cloudサービス

Other Services

ガバナンスと管理

アカウント管理

アイデンティティ

セキュリティ

ガバナンス

管理

制限、割当ておよび使用状況

お客様のテナンシには、使用可能なリソースの最大数に制限があります。コンパートメントにリソースを割り当てるには、割当てを行います。対象アカウントの管理者である場合は、サービス制限の引上げをリクエストできます。

サービス

スコープ ⓘ

リソース

コンパートメント

Compute

TGjA:AP-TOKYO-1-AD-1

Select...

orasejapan (ルート)

説明	制限名	サービス制限	使用量	使用可能 ⓘ	
BM.DenseIO1.36	bm-dense-io1-36-count	0	0	0	⋮
BM.DenseIO2.52	bm-dense-io2-52-count	3	0	3	⋮
BM.GPU2.2	bm-gpu2-2-count	0	0	0	⋮
BM.GPU3.8	bm-gpu3-8-count	2	0	2	⋮
BM.HPC2.36	bm-hpc2-36-count	5	0	5	⋮

割当て制限ポリシー

制限、割当ておよび使用状況

タグ・ネームスペース

- ① サービス制限の範囲
- ② サービス制限の数量
- ③ 実際に利用しているリソースの使用量と残り利用可能な数量



サービス制限の引き上げ

ORACLE CloudApplications >

US East (Ashburn)

サービス制限の引き上げのクエスト

テナンシのリソース制限を引き上げるクエストを送信します。

主な連絡先の詳細

名前

このクエストの主な連絡担当者の名前。

電子メール

このクエストの主な連絡担当者の電子メール・アドレス。

リソース制限の引き上げ(クエストは増分であり、現在の制限に加算されます)

サービス・カテゴリ

カテゴリの選択

リソース

リソースの選択

+ 追加リソース制限

クエストの理由

クエストに関して含める追加情報。

次で指定されているより強力な保護を必要とする欧州居住者の個人情報、HIPAAの対象となる保護医療情報、またはその他の機密個人情報(クレジット・カード・データなど)を送信しないでください[Oracle GCSのセキュリティ上の措置](#)。

サービス制限クエストは、すぐには処理されません。ほとんどの制限クエストは、1営業日以内に解決されます。ただし、クエストしたリソースまたは数量によっては、割当てにさらに時間がかかることもあります。これが緊急クエストの場合は、重大度を指定して、「クエストの理由」テキスト・ボックスにその状況を記載してください。

クエストの送信

Cancel

使用条件およびプライバシー

クッキー選択設定

Copyright © 2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

前頁の「サービス制限の引き上げ」をクリックすると、サービス制限を増やすためのクエストを行うページが表示されます

サービス制限の引き上げクエストを実施すると、登録したメールアドレス宛に、申請の受領と、引き上げ実施完了がメールにて通知されます



ユーザー/グループ/ポリシー/コンパートメント/リソース

ユーザー/グループ/ポリシー/コンパートメント/リソース

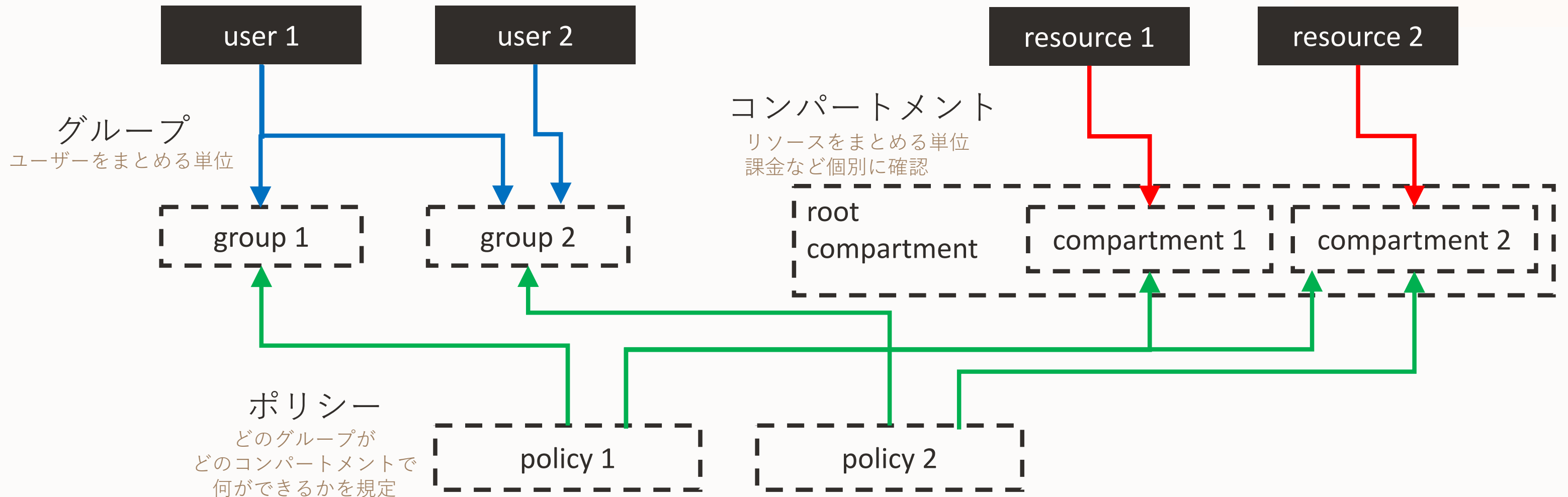
OCIの権限管理やリソースの管理に関する概念を表しています。

ユーザー

サインインするユーザー

リソース

Compute Instanceや、Networkなどのリソース



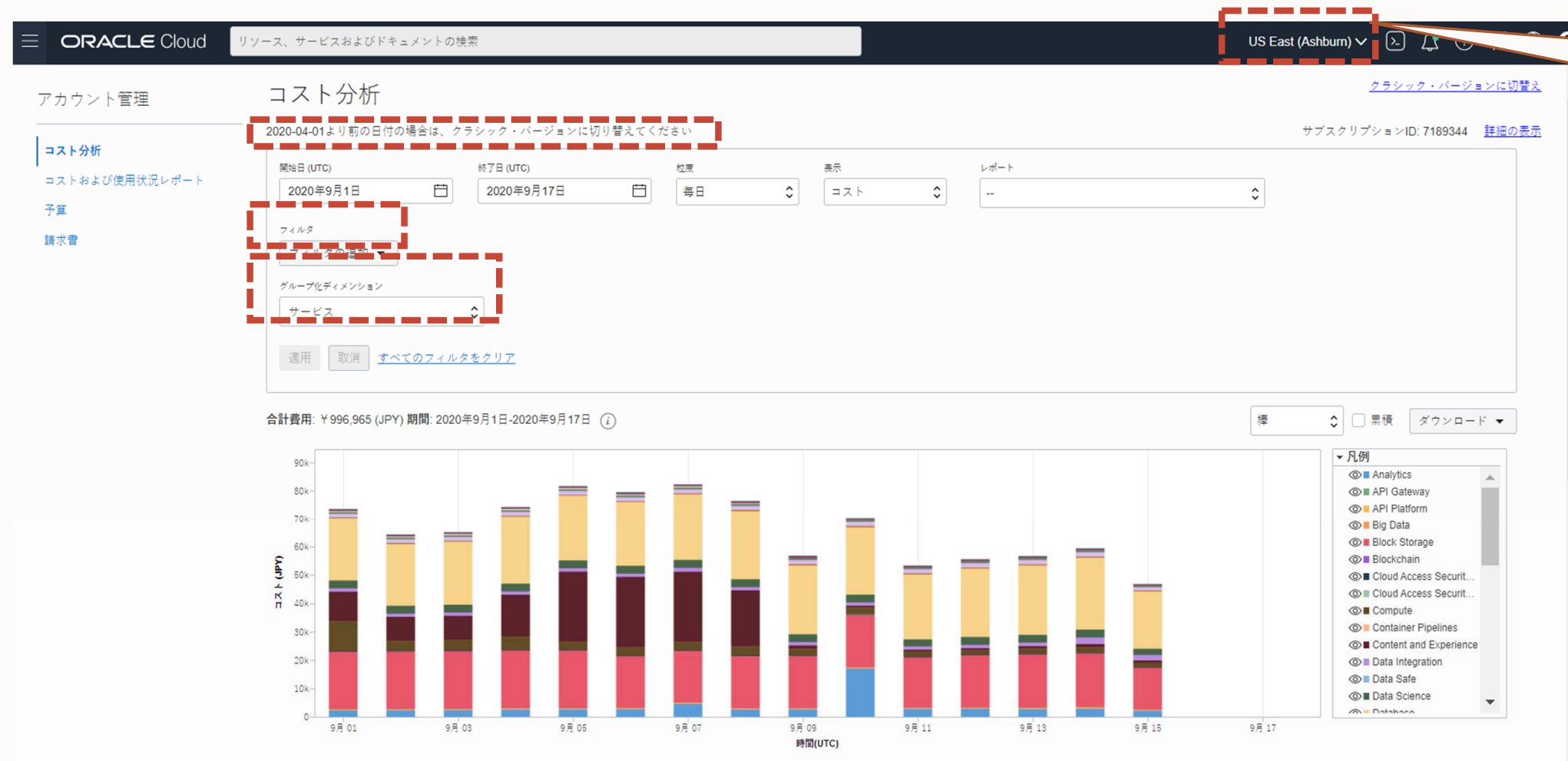
ポリシーのステートメントの入力例：
Allow group <グループ名> to manage all-resources in compartment <コンパートメント名>

課金について押さえておきたいポイント

クレジットの確認方法 「コスト分析」

OCIコンソールのアカウント管理 -> コスト分析 から確認可能

- フィルタ：表示する範囲を設定（特定のコンパートメントやサービスなど）
- グループ化ディメンション：グラフの下段に表示される表の表示形式を設定



※ホーム・リージョンを選択しないと表示されません。

コンピュータ・インスタンスの課金は秒単位 (Per-second Billing)

コンピュータ・インスタンス(とDB)は秒単位で課金

最低課金時間：仮想マシン(VM)=1分以上、ベアメタル(BM)=1時間以上
(インスタンスタイプによらず)

コスト分析画面

▼ Compute	単価	使用量	単位	
Compute Standard E2	JP¥3.60	836	OCPU Hours	JP¥3,009
Compute Standard E3 Memory	JP¥0.18	2,771.97	GB Hours	JP¥498.96
Compute Standard E3 OCPU	JP¥3.00	173.25	OCPU Hours	JP¥519.74
Windows OS on Compute	JP¥2.448	1,476.47	OCPU Hours	JP¥3,61
VM Standard Compute X7	JP¥7.656	636.47	OCPU Hours	JP¥

使用量が“2,771.97 時間”のように、小数点以下の値で集計されている

インスタンスへの課金を停止するには？

Standardシェイプの場合

→ インスタンスの停止(Stop)でOK

DenseIO, GPU, HPC シェイプの場合

→ インスタンスの終了(Terminate)が必要

Point

- 仮想マシン(VM)かベアメタル(BM)かはこの挙動には無関係
- 仮想マシン専用ホスト(DVH : Dedicated VM Host)の場合には、DVHを起動してから終了(Terminate)するまで全てのコア数分の課金が継続
- Dense IOの内蔵NVMeに保管したデータは永続化される

OCI ストレージ・サービスの課金ポイント

1. ブート・ボリューム

- 課金はブロック・ボリュームに準ずる
- インスタンス作成時に一緒に作成され、ボリュームを明示的に終了(Terminate)するまで課金
- Linux 47GB以上、Windows 256GB以上 / Volume

2. ブロック・ボリューム

- 課金 = 容量課金 + 性能課金
- **中身のデータサイズによらず確保した容量分課金**
- 作成してから終了(Terminate)するまで課金
- 50GB以上 / Volume

3. ブート&ブロックボリュームのバックアップ

- オブジェクト・ストレージのデータサイズ分課金
- ゼロデータの排除が働くためサイズは小さくなる(圧縮や重複排除機能はなし)
- 差分バックアップの分は消費容量が少ない

4. ファイル・ストレージ

- **実際に配置したデータサイズ分だけ課金**
- スナップショットはデータサイズが増えない

5. オブジェクト・ストレージ(アーカイブ・ストレージ)

- **実際に配置したデータサイズ分だけ課金**
- オブジェクトがアーカイブされている間は単価が安い
 - アーカイブされたオブジェクトをリストアすると、リストアされてから再アーカイブされるまではオブジェクト・ストレージ分の単価で課金
- レプリケーションした分は2倍課金
- バージョニングした分はその分課金(差分ではない)

・無料のサービス

- ストレージ・ゲートウェイ
- データ転送サービス

ストレージ・サービスの積算に関する基本的な考え方

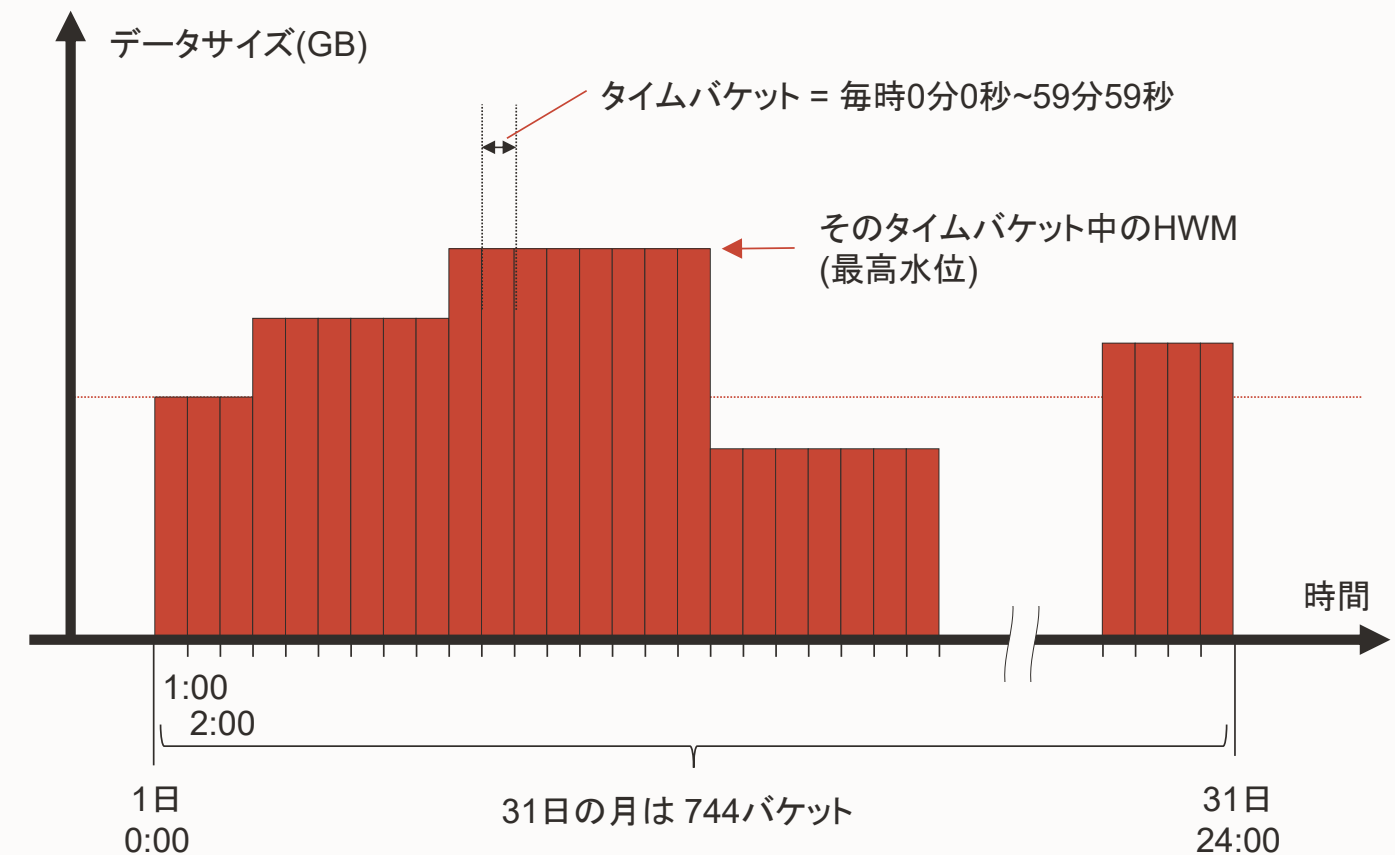
ストレージ・サービスのSKUのUnit(単位)は、基本的に **Gigabyte Storage Capacity Per Month**

Product	Unit Price	Metric
Block Volume Storage	¥3.06	Gigabyte Storage Capacity Per Month

一方、期間のカウントは1時間単位

どうやって換算する？

→ 時間を毎時0分0秒~59分59秒の1時間毎のタイムバケットで区切り、それぞれのタイムバケットバケットの中のHWM(最高水位)を月で積分する



月の課金額は、赤い帯の面積の合計(単位は GBx月)



消費のコントロールをしましょう！

クレジットを、計画的かつ効果的にご利用いただき、意図せぬ消費を防ぎましょう。

■ 予算アラート・ルールを設定し、クレジット消費量に従ってメール送信や追加リソースの利用を制限します。

→次頁 「予算アラート・ルールの設定」 参照

■ 不要なリソースは停止または削除することでクレジット消費を抑制します。

■ クレジットの消費を完全に止めたい場合は、全てのリソースを削除します。

予算アラート・ルールの設定

OCIコンソールのアカウント管理 > 予算にて、コンパートメント単位もしくはコストトラッキングタグ単位に予算アラート・ルールを設定し、メール送信が可能です。

ターゲットコンパートメント名: 予算を指定する対象のコンパートメント

月額予算額(¥): 予算額 (例: 100000)

しきい値メトリック: 実績 もしくは 予測金額を対象とするか

しきい値のタイプ: タイプを比率% もしくは 絶対金額とするかの指定

しきい値: アラートをあげる比率% もしくは 絶対金額の指定

電信メール受信者: メール送信対象のメールアドレス

電子・メールメッセージ: メールのメッセージの内容

予算作成後の確認画面

The screenshot shows the 'Budget Creation' (予算の作成) page in the OCI console. It includes fields for 'Name' (名前) set to 'CSM_Budget', 'Target Compartment' (ターゲット・コンパートメント) set to 'OracleCSM', and 'Monthly Budget Amount (¥)' (月次予算金額(¥)) set to '1000000'. Below these is a section for 'Budget Alert Rule (Optional)' (予算アラート・ルール(オプション)). This section contains options for 'Threshold Metric' (しきい値メトリック) set to 'Actual Spend' (実績支出), 'Threshold Type' (しきい値のタイプ) set to 'Budget Ratio' (予算の比率), and a 'Threshold %' (しきい値%) set to '70'. The 'Email Recipient' (電子メール受信者) field contains 'taro.oracle@oracle.com'. At the bottom, the 'Email Message' (電子メール・メッセージ) field contains the text: 'しきい値の70%を超過しました。利用クレジットをご確認下さい。' (The 70% threshold has been exceeded. Please check your usage credits.)

予算作成画面



予算アラート・ルールの設定

前ページの設定を行うと、以下の通りのアラート・メールが送信されます。

N

2019/06/17 (月) 11:46
noreply@usage.us-ashburn-1.oci.oraclecloud.com
OracleCSM-budget budget spending exceeded 70% of actual

宛先

^

ORACLE[®] Cloud

Scope:	COMPARTMENT
Target:	OracleCSM
Budget:	OracleCSM-budget
Monthly budget:	JPY1,000,000.00
Alert Type:	Actual
Threshold:	70%
Spend in cycle:	JPY1,790,322.40
Forecast:	JPY3,159,392.46
Time in cycle:	17 / 30 days

Message from your administrator 予算の70%を超過しました。利用クレジットをご確認下さい。

Copyright ©2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
Oracle Corporation - Worldwide Headquarters, 500 Oracle Parkway, Redwood Shores, CA 94065, United States

About Oracle | Legal Notices and Terms of Use | Privacy Statement



OCIからの通知



Oracle Cloud からの通知 - メールによる通知 (1/2)

ご利用のサービスに関する各種ご連絡は、Oracle Cloudサービスよりメール通知されます。

主な通知内容

- サービス開始のご案内 (Welcomeメール)
- 緊急メンテナンスのご案内
- メンテナンスのご案内
- 計画外障害通知 (本番イベント通知)
- 推奨処理
- 必須処理

その他 Oracle Cloudからの情報共有

- 予算超過の通知 (設定時)
- サービス終了通知

その他 Oracle Cloudからの情報共有

From: noreply@status.oraclecloud.com [mailto:noreply@status.oraclecloud.com]

Sent: Thursday, June 04, 2019 2:04 PM

To:

Subject: Scheduled Maintenance: Oracle Cloud Infrastructure Exadata - Reminder for Tenant:

- [CN-5459]

ORACLE Cloud Infrastructure



Oracle Cloud Infrastructure Networking - Maintenance Canceled



Oracle Cloud Infrastructure Customer,

We would like to remind you of upcoming scheduled maintenance for Oracle Cloud Infrastructure Exadata in all regions. The timing and details of the scheduled change can be found in the email copy of this notification.

Please validate the health of your services once the scheduled change is complete and contact support if you are experiencing any issues.

**Scheduled
Maintenance**



Servi
Tena

Region
ap-tokyo-1
ap-tokyo-1

Oracle Cloud Infrastructureに関するメール通知:

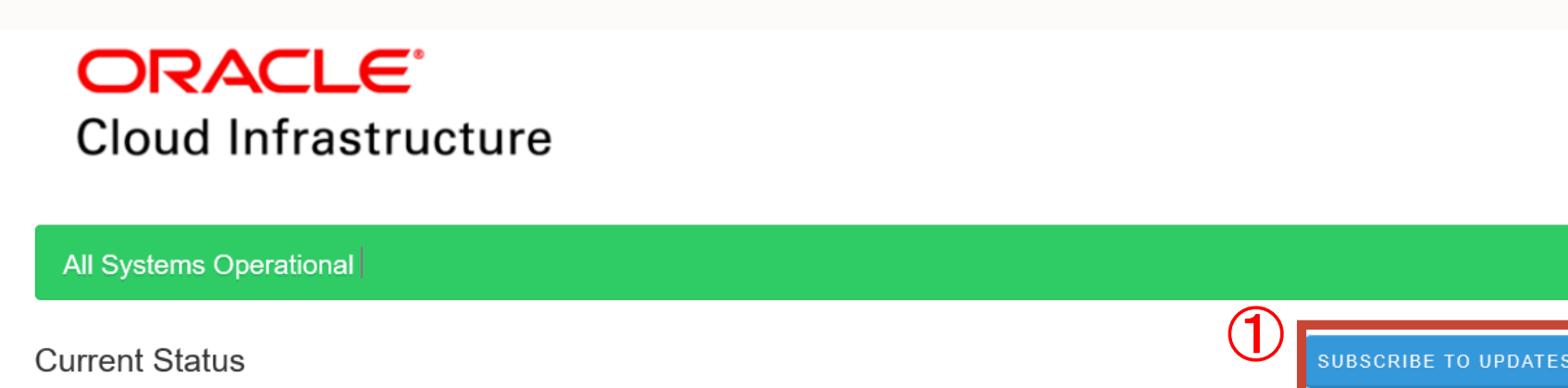
アクティベーション時に指定した管理者

※複数ユーザへの通知送付が必要な場合は、クラウドアカウントの管理者として、複数宛先を含むメーリングリストの登録をするようカスタマサポートに依頼して下さい。

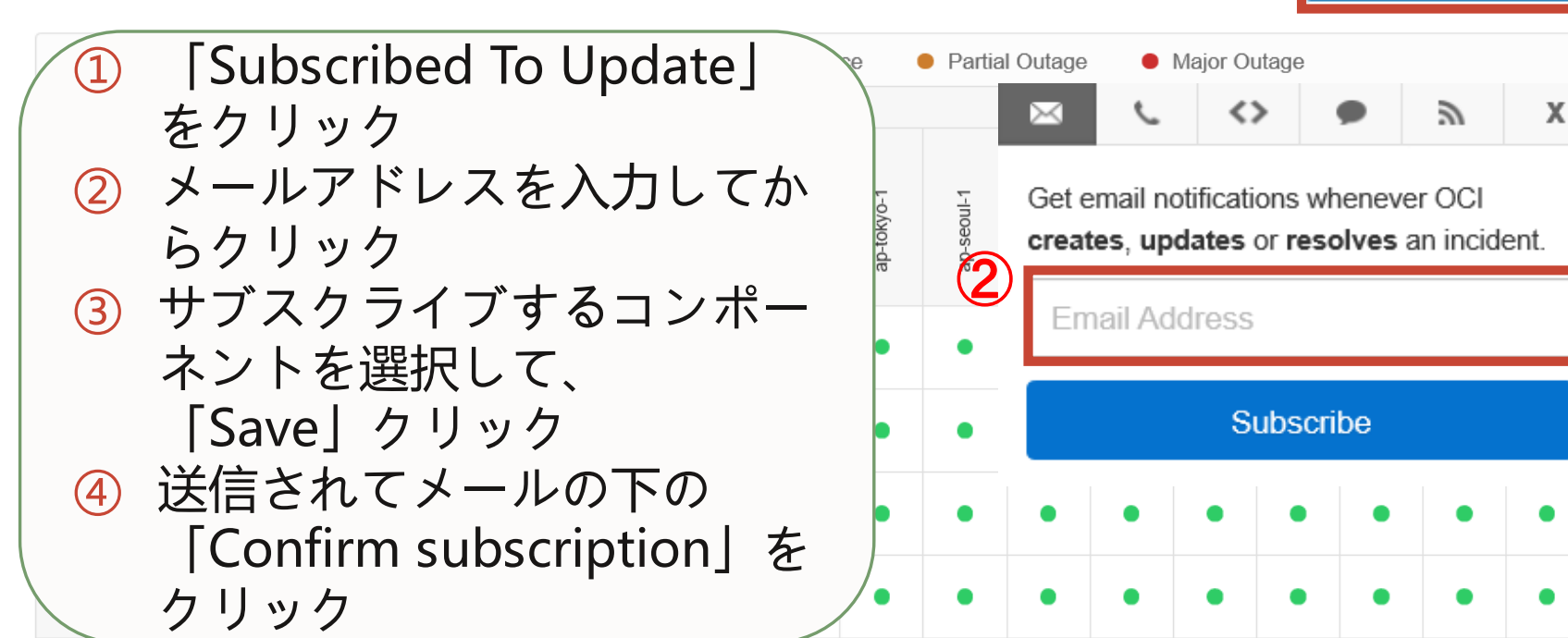
Classicサービス、Oracle Platform Cloud Serviceに関するメール通知: **該当サービスの管理者**

Oracle Cloud からの通知 – メールによる通知(2/2)

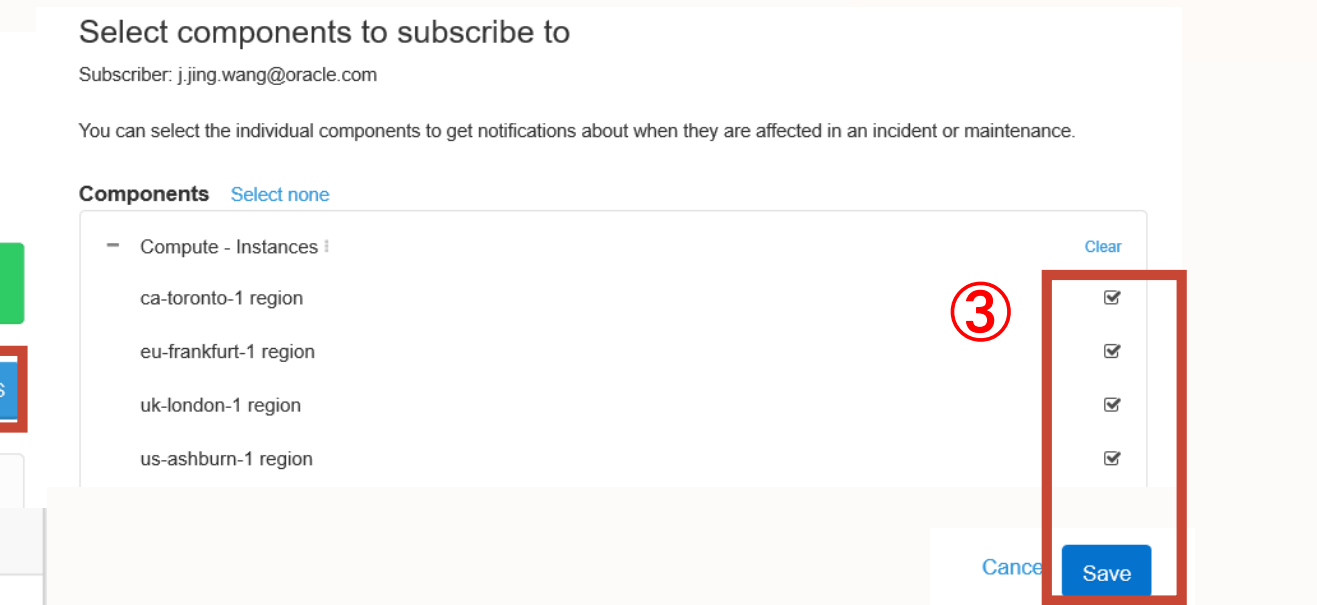
Oracle Cloud Infrastructure のメンテナンスや計画停止に関するメールの一部は別途「noreply@ocistatus.com」よりメール通知されます。以下のページより購読の申込みを行います。



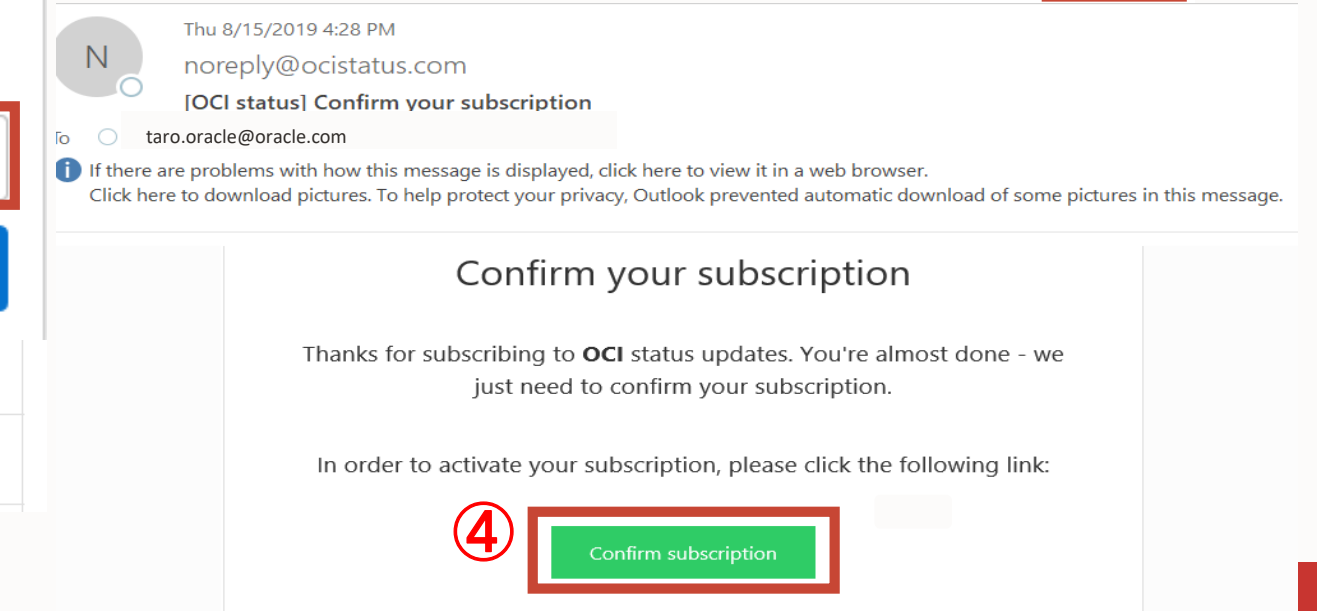
① 「Subscribed To Update」をクリック



② メールアドレスを入力してからクリック



③ サブスクライブするコンポーネントを選択して、「Save」をクリック

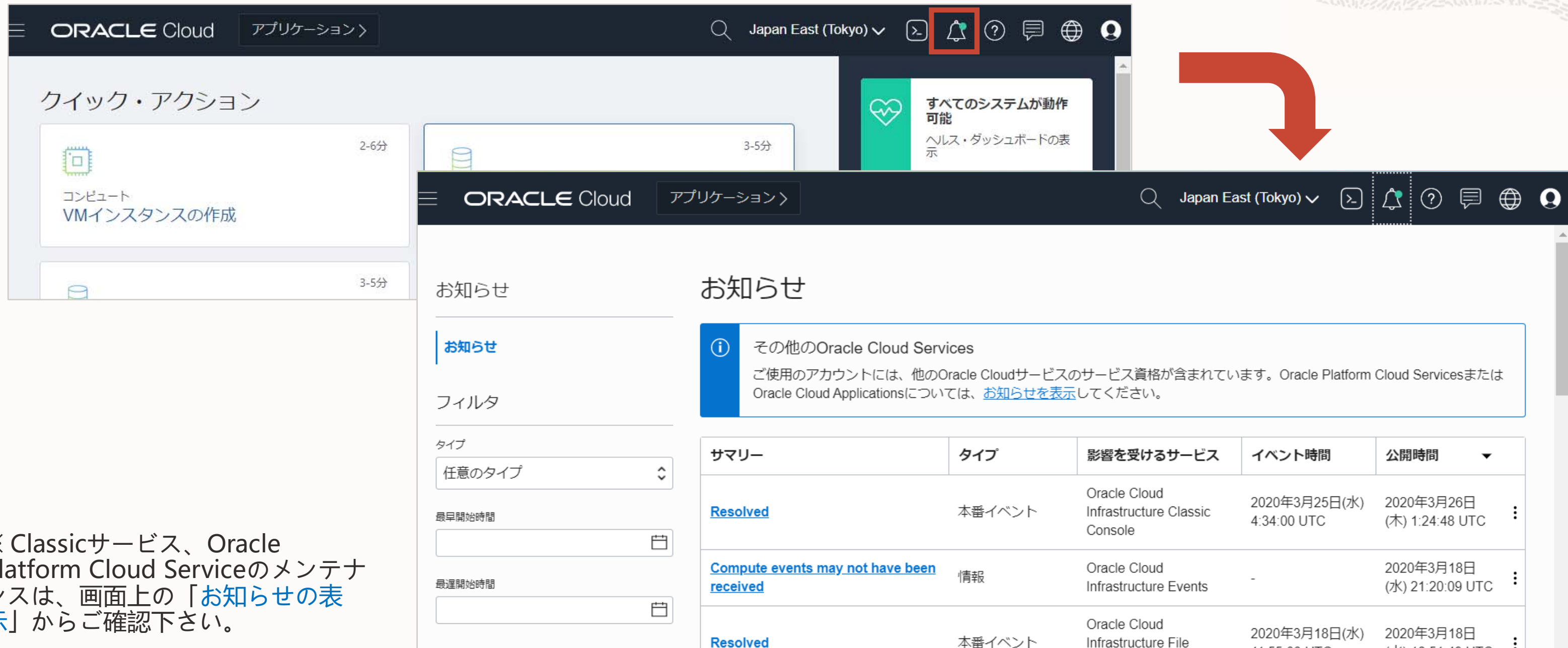


④ 送信されてメールの下の「Confirm subscription」をクリック

<https://www.ocistatus.com>

Oracle Cloud からの通知 – ポータル画面

ご利用のサービスに関するお知らせは、OCIポータル画面からも確認できます。



The screenshot shows the Oracle Cloud portal interface. In the top navigation bar, the 'お知らせ' (Notifications) bell icon is highlighted with a red box. A large red arrow points from this icon to the 'お知らせ' section on the main page. The 'お知らせ' section displays a list of notifications, including a 'Resolved' event for Oracle Cloud Infrastructure Classic Console and a 'Compute events may not have been received' information event.

※ Classicサービス、Oracle Platform Cloud Serviceのメンテナンスは、画面上の「[お知らせの表示](#)」からご確認下さい。

Oracle Cloud PaaS & IaaS 定期メンテナンス

※詳細は My Oracle Support Knowledge の下記の情報をご確認下さい。
「Oracle Cloud Change Management Information ([Doc ID 1681146.2](#))」

- ほとんどのPaaS/IaaSクラウドサービスは特定のメンテナンス時間を持たず、多くは定期メンテナンス枠を必要としません。
- 計画停止時間を必要とするサービスについては[こちらのリンク](#)（メンテナンスカレンダー）を参照下さい。 ※次ページにてご紹介します。
- 定期メンテナンスを実施する場合は、1週間前までに通知メールを送信します。
- 開始時刻は、データセンター所在地の現地時間で、金曜日21時です。



Oracle Cloud PaaS & IaaS メンテナンスカレンダー

Technology Cloud Services (PaaS and OCI) Maintenance Schedule ([Doc ID 2131053.2](#)) - My Oracle Support Knowledge -

Customer Schedule Maintenance Impact Details

Search This Document

Print

Customer Schedule

Maintenance Schedule

Jan-Feb-Mar

Apr-May-Jun

Oracle Cloud Maintenance Calendar

Oracle Cloud reserves specific maintenance periods for planned maintenance changes such as system and service maintenance activities and updates. These maintenance changes may require the Services to be unavailable or experience some other service impact. This article documents the standard maintenance period schedule through the remainder of the calendar year, along with the planned duration and details of the anticipated impact to the Services. This schedule is for planning purposes only and is subject to change at Oracle's discretion. For services that conduct maintenance activity once a quarter, the maintenance may be rescheduled to a different month within the same quarter. Note that Oracle Cloud may not conduct maintenance activities during every maintenance window, and that Oracle Cloud may require to schedule major updates and emergency maintenance separately from the published monthly maintenance schedule. Oracle will endeavor to provide advance notification to customers for any such scheduled other maintenance.

Note: The maintenance window will occur between 9:00 PM and 5:00 AM local data center time.

Service is Up. No impact on runtime. For other impact please refer to the Maintenance Impact Details tab

Service Interruption

No Maintenance Activity

Platform Services - Category 1

Week	6 / Apr			4 / May			1 / Jun		
Platform Services - Category 1	Activity	Impact	Duration	Activity	Impact	Duration	Activity	Impact	Duration
Exadata Cloud Service	Patching		35 mins	Patching		35 mins	Patching		5-20 hrs

Platform Services - Category 2

Week	6 / Apr			4 / May			1 / Jun		
Platform Services - Category 2	Activity	Impact	Duration	Activity	Impact	Duration	Activity	Impact	Duration
Process Cloud Service				Patching		25 mins			
Integration Cloud Service*				Patching		25 mins			
Mobile Cloud Service				Patching		30 mins			

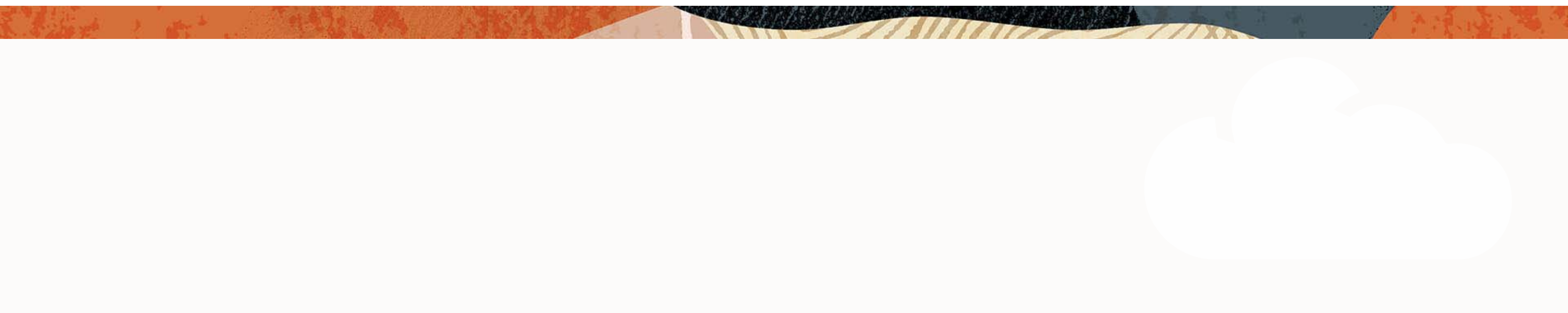
①定期メンテナンス実施の有無を確認したい期間を指定

緑: 起動中インスタンスに影響なし
赤: 起動中インスタンスに影響あり

②定期メンテナンス実施の有無と影響度を確認できる

メンテナンスによる影響がないサービスについては、カレンダーに記載されません。





Oracle Cloud 参考資料ご案内

OCIチュートリアル

実際のサービスの利用については、下記のチュートリアルを参照ください。
ステップ・バイ・ステップで作業を進め、OCIの機能についてひとつとおり学習することができます。

Oracle Cloud 公式ブログの 文書

チュートリアル : Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう

mmarukaw-Oracle が 2017/11/01 5:13 に作成。 mmarukaw-Oracle が 202

このドキュメントは Oracle Cloud Infrastructure (OCI) を使っていこう! とい
ごとに画面ショットなどを交えながらステップ・バイ・ステップで作業を
することができるようになっています。 [Oracle Cloud Infrastructure 活](#)

また、こちらのチュートリアルのうち、初級編を元にしたハンズオンセミ
ナーにてご案内しますので、ご興味のある方はぜひ [こちら](#) を定期的にこ

準備 - Oracle Cloud の無料トライアルを申し込む

Oracle Cloud 無料トライアルを申し込む

Oracle Cloud のほとんどのサービスが利用できるトライアル環境を取得す
内容を試すのに必要になりますので、まずは取得してみましょう。
※取得には認証用のSMSが受け取ることができる電話と、有効なクレジッ
限り課金はされませんのでご安心を!!

• Oracle Cloud 無料トライアル サインアップガイド

• Oracle Cloud 無料トライアルに関するよくある質問(FAQ)

チュートリアル初級編 - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう

OCIコンソールにアクセスして基本を理解する - Oracle Cloud Infrastructureを使ってみよう(その1)

まずはコンソールにアクセスしてみましょう。そしてリージョン、アベイラビリティ・ドメイン、コンパートメント、ポリシー
(ACL)、サービス・リミットなどのOCIの基本的なコンセプトについて学びます。

クラウドに仮想ネットワーク(VCN)を作る - Oracle Cloud Infrastructureを使ってみよう(その2)

クラウドの最初の一步は、クラウド上に皆さん専用のネットワーク(VCN)を作るところから始まります。難しい作業は必要ありませ
ん。まずはやってみましょう!!

インスタンスを作成する - Oracle Cloud Infrastructureを使ってみよう(その3)

ネットワークができれば、いよいよインスタンスを立ち上げましょう。OCIなら仮想マシンもベアメタルサーバーも同じように簡単
に作成できます。

ブロック・ボリュームをインスタンスにアタッチする - Oracle Cloud Infrastructureを使ってみよう(その4)

ストレージ容量が足りない? そんなときは、ブロック・ボリュームをネットワーク越しにインスタンスにアタッチできます。

インスタンスのライフサイクルを管理する - Oracle Cloud Infrastructureを使ってみよう(その5)

作ったインスタンスを必要ときに止めたり、削除したり、また再作成したりと、いつでも簡単にできてしまうところがクラウドの
いいところです。実際にどのような動きになるのか試してみましょう。

ファイルストレージサービス(FSS)で共有ネットワークボリュームを利用する - Oracle Cloud Infrastructureを
使ってみよう(その6)

ファイルストレージサービス(FSS)を利用すると、複数のインスタンスから同時にネットワーク越しに利用できる共有ディスクを簡
単に作成することができます。

オブジェクト・ストレージを使う - Oracle Cloud Infrastructureを使ってみよう(その7)

オブジェクト・ストレージを使うと、とても堅牢なデータストアを信じられないくらい安価に利用できます。まずは簡単な使い方を
学びましょう。

クラウドでOracle Databaseを使う - Oracle Cloud Infrastructureを使ってみよう(その8)

Oracleのクラウドで使いたいものと言ったら、そう! Oracle Database!! OCIでは仮想マシン、ベアメタルサーバーからExadataまで、
様々なOracle Databaseを簡単に使うことができます。まずはインスタンスを作ってみましょう。

チュートリアルの特ピック

1. OCIへのアクセス
2. 仮想ネットワークの作成
3. インスタンスの作成
4. ブロック・ボリュームの操作
5. インスタンスのライフサイクル管理など

他にもLoad BalancerやDatabase Serviceなど、各種サービスの利用方法を紹介しています。

<https://oracle-japan.github.io/ocitutorials/>

42 Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates

Oracle Cloud– マニュアル、ドキュメント

■ Oracle Help Center（オンラインマニュアル）：

※ 最新情報については英語版をご確認ください。

- Oracle Cloud サービスのドキュメント（全体）

<https://docs.cloud.oracle.com/ja-jp/iaas/Content/home.htm>

※サイトの右上の  ボタンを押すと、言語指定ができます。

- Platform as a Service (PaaS)のドキュメント

https://docs.oracle.com/cd/E83857_01/paas/index.html（日本語）

<https://docs.oracle.com/en/cloud/paas/index.html>（英語）

- Infrastructure as a Service (IaaS) のドキュメント

https://docs.oracle.com/cd/E83857_01/iaas/index.html（日本語）

<https://docs.oracle.com/en/cloud/iaas/index.html>（英語）

Oracle Cloud(PaaS/IaaS): セミナー情報一覧

https://blogs.oracle.com/oracle4engineer/column_cloud_seminar



今後開催予定のセミナー

- 日本オラクル: イベント一覧 | 技術者向けイベント | パートナー様向けイベント

開催日	タイトル	対象サービス	特徴
2020年11月25日(水) 15:00～16:00	DX時代の新しいツーリズムの在り方とは（オンライン）	全般	
2020年11月19日(木) 15:00～16:00	Oracle Database Cloud / Exadata Cloud 最新情報（オンライン）	Database	
2020年11月18日(水) 15:00～16:00	クラウドでも使える無償ツール「APEX」の魅力とは？（オンライン）	Database, APEX	
2020年11月4日(水) 15:00～16:00	はじめてのOracle Cloud Infrastructure（オンライン）	Oracle Cloud Infrastructure	
2020年10月30日(金) 13:00～17:00	Oracle Cloud Infrastructure ハンズオン（オンライン）	Oracle Cloud Infrastructure	ハンズオン
2020年10月29日(木) 15:00～16:00	Oracle Cloudで実現できる High Performance Computing 最新情報（オンライン）	HPC	
2020年10月29日(木) 14:00～15:00	第8回しゃちほこオラクル倶楽部 Oracle DBA からクラウドアーキテクトへの転身で得たものを惜しみなく伝えます！～おもしろクラウド案件や導入事例（初公開）も～（オンライン）	全般	

Oracle Cloud(PaaS/IaaS): サービス更新情報

https://blogs.oracle.com/oracle4engineer/oracle-cloud-update-summary_202010

October 23, 2020



Oracle Cloud Infrastructure: 2020年10月度サービス・アップデート



Yusuke Yamamoto

2020年10月のOracle Cloud Infrastructureのサービス・アップデートです。
各サービスの詳細なアップデート情報は、ドキュメントをご覧ください。

- [Oracle Cloud Infrastructure Documentation](#)(英語版：最新情報はこちらをご覧ください)
- [Oracle Cloud Infrastructure ドキュメント](#)(日本語版)
- [Oracle Cloud Infrastructure > Release Notes](#)
- [What's New for Oracle Autonomous Data Warehouse](#)

【お問い合わせ先】



日本オラクル株式会社

クラウド営業統括 公共営業部

松山 慎（まつやま まこと）

E-Mail: Makoto.Matsuyama@oracle.com

電話: 080-1289-8315

お気軽にご連絡ください!

Thank you





ORACLE